

合意形成技法

Consensus Building Methods

2 単位 (選択)

山中 英生・教授 / 建設工学科 社会システム工学講座

【授業目的】 社会的合意形成に関する基礎的知識の講述，合意形成技法に関する議事体験を通じて，合意形成のための基礎的技術を理解することを目的とする。

【授業概要】 社会的合意形成に関する基礎知識に関する講義およびコンセンサスビルディングおよび参加型計画手法の体験授業を行う。

【キーワード】 都市地域計画，市民参加，建築計画

【先行科目】 『景観デザイン』(1.0)，『参加型環境デザイン』(1.0)

【関連科目】 『建築空間計画』(0.5)，『都市計画』(0.5)

【履修要件】 なし

【履修上の注意】 なし

【到達目標】

1. 1 集団的合意形成に関する基礎知識を身につける。(第1回～第6回)
2. 2 社会的合意形成手法としてPCM参加型計画手法の利用能力を身につける。(第7回～第15回)

【授業計画】

1. ガイダンス，社会的合意形成に関わる事例
2. 合意形成の技法について 集団意思決定法
3. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング No1～No3
4. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング No. 4～No. 6
5. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング No. 7-No. 10
6. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング 復習
7. パブリックインボルブメント
8. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング確認テスト
9. 交渉学と社会的合意形成
10. メディエーションとコンセンサスビルディング
11. 交渉ゲーム
12. PCM 手法の概要
13. PCM 手法 関係者分析，問題分析
14. PCM 手法 目的分析，プロジェクト選択
15. PCM 手法 PDM の作成
16. レポート提出

【成績評価基準】 各到達目標毎にレポート，体験実習の評価点で評価し，総合評価100点満点で60点以上あれば到達目標をクリアしたとする。到達目標1(50%)，2(50%)で総合評価を算定する。

【JABEE 合格】 [JABEE 合格]

【学習教目標との関連】 本学科の教育目標の3(4)に100%対応する。

【教科書】 なし

【参考書】 近代科学社「参加型社会の決め方」

【WEB 頁】 <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/N0023>

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215850>

【対象学生】 昼間コース学生受講可(ただし，定員を設けることがある)

【連絡先】

⇒ 山中 (A410, 088-656-7350, yamanaka@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: オフィスアワー:年度ごとに学科の掲示板を参照のこと)

【備考】 週4時間開講型。昼間コース学生のJABEE合格は【成績評価】と同一である。

Target 社会的合意形成に関する基礎的知識の講述，合意形成技法に関する議事体験を通じて，合意形成のための基礎的技術を理解することを目的とする。

Outline 社会的合意形成に関する基礎知識に関する講義およびコンセンサスビルディングおよび参加型計画手法の体験授業を行う。

Keyword 都市地域計画, 市民参加, architectural planning

Fundamental Lecture “景観デザイン”(1.0), “Participatory Environment and Civic Design”(1.0)

Relational Lecture “Architectural Planning”(0.5), “都市計画”(0.5)

Requirement なし

Notice なし

Goal

- 1 集団的合意形成に関する基礎知識を身につける。(第1回～第6回)
- 2 社会的合意形成手法としてPCM参加型計画手法の利用能力を身につける。(第7回～第15回)

Schedule

1. ガイダンス，社会的合意形成に関わる事例
2. 合意形成の技法について 集団意思決定法
3. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング No1～ No3
4. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング No. 4～ No. 6
5. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング No. 7-No. 10
6. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング 復習
7. パブリックインボルブメント
8. 合意形成プロデューサー WEB ラーニング確認テスト
9. 交渉学と社会的合意形成
10. メディエーションとコンセンサスビルディング
11. 交渉ゲーム
12. PCM 手法の概要
13. PCM 手法 関係者分析，問題分析
14. PCM 手法 目的分析，プロジェクト選択
15. PCM 手法 PDM の作成
16. レポート提出

Evaluation Criteria 各到達目標毎にレポート，体験実習の評価点で評価し，総合評価 100 点満点で 60 点以上あれば到達目標をクリアしたとする。到達目

標 1(50%)，2(50%) で総合評価を算定する。

Jabee Criteria [JABEE 合格]

Relation to Goal 本学科の教育目標の 3(4) に 100%対応する。

Textbook なし

Reference 近代科学社「参加型社会の決め方」

Webpage <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/N0023>

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215850>

Student 昼間コース学生受講可 (ただし，定員を設けることがある)

Contact

⇒ Yamanaka (A410, +81-88-656-7350, yamanaka@ce.tokushima-u.ac.jp)

MAIL (Office Hour: オフィスアワー:年度ごとに学科の掲示板を参照のこと)

Note 週 4 時間開講型。昼間コース学生の JABEE 合格は【成績評価】と同一である。